

✓ [Answer & Explanation]  
Humor, Laughter, and Amusement  
(Total: 50 点)

---

✓ Q1. Vocabulary(6 points)  
Answers

(1) ① (2) ① (3) ②

---

[Explanation]

Q1. Vocabulary(各 2 点 × 3 問 = 6 点)

(1) characters

✓ 正解:① people in a story(物語中の登場人物)

- ② written symbols(文字)
- ③ strong personalities(強い個性)
- ④ moral values(道徳的価値)

→ *characters* は文脈によって「文字」の意味もあるが、本文では *situations, characters, speech, writing or images* と並んでおり、「私たちを楽しませる登場人物」の意味で使われている。

(2) amuse

✓ 正解:① entertain(楽しませる)

- ② frighten(怖がらせる)
- ③ confuse(混乱させる)
- ④ disappoint(失望させる)

→ *amuse* は「おもしろがらせる・楽しませる」。本文では *humor* が私たちを楽しませる、と説明されている。

(3) involuntary

✓ 正解:② automatic(無意識の・自動的な)

- ① intentional(意図的な)
- ③ repeated(繰り返された)
- ④ visible(目に見える)

→ *involuntary* は「自分の意志によらない」。本文では *laughter* が刺激に対する無意識の反応だと述べている。

---

✓ Q2. Fill-in-the-Blanks(6 points)  
Answers

(a) ② (b) ③

---

[Explanation]

(a) but

→ *It may be a motor response, but we seek out experiences ...*

→ 「それは身体反応かもしれないが、しかし私たちは…を求める」という 逆接 を表すので *but* が適切。

(b) in

→ *result in* ~ は「~という結果になる / ~をもたらす」という定型表現。

→ *experiences that will result in laughter* で「笑いをもたらすような体験」となる。

✗ 他の選択肢

① *and*: 並列ではなく逆接が必要。

④ *from*: *result from* は「~から生じる」で意味が逆になる。

---

✓ Q3. Grammar / Usage(6 points)  
Answer

①

---

[Explanation]

Q3 は *used* の働きを識別する問題。

① *This is a tool used to open heavy wooden doors safely.*

→ *used* は 過去分詞。

→ *a tool* を後ろから修飾しており、「重い木

の扉を安全に開けるために使われる道具」という意味。

→ 過去分詞による後置修飾 になっている。

✕ 他の選択肢

② *He used a map to find the small village in the mountains.*

→ 一般動詞の過去形。「彼は地図を使った」。

③ *People used to laugh more freely in informal gatherings.*

→ used to do の一部。「以前は～したものだ」。

→ 過去分詞ではない。

④ *She is used to hearing polite laughter in formal situations.*

→ be used to ~ の一部。「～に慣れている」。

→ 形は過去分詞だが、ここでは述語の一部として慣用表現を作っており、①のような過去分詞修飾とは異なる。

---

✔ Q4. Translation(20 points)

(解答例)

私たちは、礼儀正しくふるまうべきだと感じる社会的な場面ではこれをまねることができるが、本物の笑いは自然にわき起こるものであり、それは私たちの意志ではコントロールできない。

---

[Explanation]

文の骨格は

Although SV, S V ; S V

である。

• Although we can imitate this ...

→ *Although* は譲歩「～ではあるが」。

→ *imitate this* の *this* は、前文の

*laughter* を指す。

→ 「私たちはこれ(笑い)をまねることができるが」。

• in social contexts where we feel an obligation to be polite

→ 「礼儀正しくすべきだと感じる社会的場面では」。

→ *where* は *social contexts* を受ける関係副詞。

→ *feel an obligation to do* で「～すべきだと感じる」。

• genuine laughter comes upon us spontaneously

→ *genuine laughter* は「本物の笑い」。

→ *comes upon us* は「自然にわき起こる／不意に起こる」。

→ *spontaneously* は「自然に／ひとりで」。

• it is beyond our control

→ 「それは私たちの制御を超えている」。

→ 自然な日本語では「私たちの意志ではコントロールできない」。

→ 全体として、

「作り笑いはできても、本物の笑いは自然に起こるもので、意志では自由に操れない」という対比を述べている。

---

✔ Q5. Reading Comprehension(12 points)

Answers

(1) ② (2) ③ (3) ①

---

[Explanation]

Q5. Reading Comprehension(各4点 × 3問 = 12点)

(1) 正解:②

It is a spontaneous reaction that we cannot fully control.

根拠:第2文

*genuine laughter comes upon us spontaneously; it is beyond our control*

→ 本物の笑いは自然に起こり、私たちの意志ではコントロールできない。

誤答の根拠

- ① 意図的だとは逆。
  - ③ 子ども時代に学ぶ習慣とは書かれていない。
  - ④ 丁寧にしようとするときだけ起こるのではない。
- 

(2) 正解:③

Polite laughter can be imitated, but genuine laughter arises spontaneously.

根拠:第2文

*we can imitate this in social contexts ... genuine laughter comes upon us spontaneously*

→ 社会的場面では笑いをまねることができる一方、本物の笑いは自然に生じる。

誤答の根拠

- ① 音量の比較は書かれていない。
  - ② *genuine laughter* が *voluntary* だとは逆。
  - ④ 集団状況に限るとは述べていない。
- 

(3) 正解:①

We often want experiences that lead to real laughter, and without that reaction we do not feel truly amused.

根拠:最終文

*we seek out experiences that will result in laughter, and if we don't get the physical reaction, we don't feel that we have been amused*

→ 私たちは笑いを引き起こす体験を求め、実際に笑わなければ楽しんだとは感じない、と述べている。

誤答の根拠

- ② 笑いが楽しさと無関係だとは逆。
- ③ ユーモア体験を避けるとは書かれていない。
- ④ 書き言葉の方が優れているとは述べていない。